

**放送日** 平成30年5月7日(月)

**担当者** 教育部長 千葉 直樹

おはようございます。教育部長の千葉直樹です。

新年度がスタートして1ヶ月が経過しましたが、職員のみなさんは目標を立てて業務にあたっていますか？

北広島市の学校教育の推進方針に掲げるキャリア教育の推進に向けた取り組みとして、学習や活動を振り返り、成長の足跡を確かめながら夢や目標に向かって挑戦するためのアイテムとして「きたひろ夢ノート」という冊子を小学校4年生から中学校3年生までの全児童・生徒に配付しています。

このノートは、夢を実現するプロセスについてゴールから逆算してどんな準備をして、何をすればよいのか、それが継続されているかを自分で確かめることができます。簡単に言えば、今、我々が日々行っている業務と同じPDCAサイクルのような仕組みによって自分を見つめるものです。このノートは別名アンビシャスノートと言っていますが、児童・生徒のみなさんには「青年よ大志をいだけ」の心を受け継ぎ、困難にも向き合える未来の社会人になってもいらいたいと願っています。

今年度から、市内全小中学校において小中一貫教育の取り組みを一斉に始め、義務教育9年間を通して計画的に一貫指導を行っているところですが、教育委員会が関わる施策等につきましては、2011年からスタートした北広島市教育基本計画に基づく8つの政策と24の施策を推進中であり、着実に実行できるよう業務にあたりたいと思います。

「まちづくり」は「人づくり」を基本とし、庁内での連携を図り、教育部一丸となって取り組んでまいります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月8日（火）

**担当者** 消防長 山崎 克彦

おはようございます。消防長の山崎です。

昨年は、朝のスピーチの結びの言葉にある「挨拶」について、お話をさせていただきましたので、今回は、「市民対応」について、お話をさせていただきたいと思えます。

私は、市役所に奉職して今年で36年目になります。これまで16回の異動を経験してきましたが、この間、窓口等で市民の方と接する際には「相手を思いやる気持ち、相手の役に立ちたい気持ちで対応する。」ということを中心に掛けてきました。

今から30年ほど前になりますが、車に置いていた自分と妻のバッグが盗難に遭ったことがあります。バッグには、財布のほか、運転免許証、健康保険証、クレジットカード、キャッシュカードなどが入っていました。これらが悪用されては困るので、あるクレジット会社に連絡をした時のことです。対応してくれた人が、これまでのカード利用履歴の確認、使用停止の手続きなどをてきぱきと対応した後に、他の会社のクレジットカードは無くしてはいないかとの確認とその連絡先、運転免許証や健康保険証によるサラ金からの借入れを防止するための連絡先を教えてくださいました。

幸いにも悪用されることもなく、この時の対応にとっても助かったこと、また、相手の困っている気持ちを察して、一歩先を読んだ機転の利いた対応にとっても感謝したことを憶えています。

「親切的な市民対応」の基本にあるものは、丁寧な対応はもちろんですが、「こうしてもらえるとありがたい、助かる」という相手の思いを察して、コミュニケーションすることだと思います。時には相手の思いに沿った結果とならないこともあるかと思いますが、相手の気持ちを意識して対応することで満足度を高め、信頼関係を築くことに繋がります。

是非皆さんも、行政のプロとして業務に関する知識を深めるとともに、市民の方の役に立ちたいという意識を持って「親切的な市民対応」を心掛けていただきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月9日（水）  
**担当者** 総務部派遣次長 櫻井 洋史

おはようございます。総務部付次長の櫻井です。

私は、昨年度から、2市4町で構成する一部事務組合である道央廃棄物処理組合に派遣されており、千歳市環境センター内にある事務所で勤務しています。やっと通勤にも慣れてきましたが、やはり冬道の長距離運転には神経を使いました。雪も融け、通勤ルートの子節の变化に目を向ける余裕が出てきた今日この頃です。

私が入庁した頃は、今のように各個人にパソコンがいきわたるなど想像もできない時代であり、当時の役場内にはコピー機すら数えるほどしかありませんでした。

印刷された様式に記入して決定書を作り、添付する公文書は半野紙に一から手書きしなければならず、長い文書の後半で間違ふと、涙しながら書き直したものです。

パソコンの利用は、無駄な作業量の削減となり、業務多忙な昨今では欠くことのできないものであることは確かです。

しかし、これまでこうやってきたから、規則でこう決まっているからなど、システムを使用しているからだけではないでしょうが、内容を深く理解しないまま仕事を行うことが多くなっているように感じます。どうしてこの内容で行っているのだろうか、この規則はどのような理由で策定されているのだろうか、突き詰めて考えること、さらに言えば、もっと適切な方法や、市民サービスの向上につながるやり方はないだろうかなど、現状を維持するだけではない仕事を行っていくことが重要であると思います。業務量が多く、余裕がない時代ではありますが、一步踏みとどまって物事を考える癖を作ることも大切です。

気持ちの良ふ挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月11日（金）

**担当者** 教育部次長 佐藤 直己

おはようございます。教育部次長の佐藤直己です。

平成30年度がスタートし、早一ヶ月が過ぎました。各部、順調な滑り出しができたことと思います。教育部としましては、今年度から小中一貫教育が開始されました。この取組は子どもたちの可能性の伸長のため非常に有効な手立てだと考えています。学校・家庭・地域とともに、着実な取組を進めてまいります。

さて、昨年のスピーチでは「教育は人を幸せにする」ということを述べさせていだきました。今年は、共に育つ「共育」、という視点で話をしたいと思います。

私は30年教育現場で多くの子どもたちに接してきました。子どもに教える立場でありながらも、今思い起こすと子どもたちから学ぶことの方が多かったと思います。若いころは、「教師なので子どもたちに教えなければならない」という思いが強く、自分の考えや価値観を教え込むことが多かったのですが、子どもたちが自分で考え、気づき、答えを見つけ、実行させた方が、生き生きと、そして責任を持って物事に取り組むことが、子どもたちの活動等を見つめていると分かるようになっていきました。子どもたちの反応や、純粹で柔軟性ある考え方に、教師でありながら子どもたちから教えられたものです。そのような時に思い出されるのが、教師として初めて赴任した学校の校長先生の言葉です。その校長は飲むとよく教育論を語られていましたが、その中でもよく話されていたことは、「教育とは、子どもと共に教師自身も育っていく（共に育つ）『共育』でなければならない」ということです。教師の成長なくして子どもたちの成長にはつながらないということです。当時の私はあまりピンとこなかったのですが、経験を重ねれば重ねるほど身に染みる言葉となりました。この校長先生は、のちにここ北広島市で教育長をされた小野勝見先生の言葉です。

市職員としての業務も同じことが言えると思います。市民の目線で考え、市民から学び、自分自身を成長させることが業務改善にもつながり、未来に向かって成長する街づくりにもつながってくると思います。

今は教育現場から離れていますが、市職員として、市民とともに歩んでいける街づくりに貢献できるよう、「共育」の精神で私自身の成長に努めたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月14日（月）

**担当者** 消防本部次長 田埜 裕司

おはようございます。消防本部次長の田埜です。

今回は、「すぐにやる習慣」についてお話しします。

消防の仕事は、火災や救急、救助の119番通報で直ちに出動し、対応しなければなりません。ちょっと後でという時間的余裕は全くありません。

昭和44年に千葉県の松戸市が「反応の鈍いお役所仕事の追放を目指し」即応組織「すぐやる課」を開設し、現在も総合政策部に配置され、業務を継続しているようですが、消防のような時間的余裕の全く無い即応業務ではないようです。

消防は別として、迅速な市役所の対応は、業務効率の向上という観点から市民は大いに期待しているはずで、

そのために仕事をすぐやる習慣を身につけることは、「人を行動志向型の人間」へ変えることに繋がると思っております。

日常の業務には、時間をかけて慎重に検討して答えを出すものと、やればすぐ処理できるものがありますが、時間をかけて検討すべきものと、簡単に処理できる仕事がこんぜんいつたい渾然一体となっているため、簡単に出来る多くの仕事が、忙しいことを口実に、先送りされることが少なくないと感じております。

今、北広島が日本ハムファイターズのボールパーク候補地となり、猛烈なスピードで対応が進んでおりますが、昨年度末に某部長が「走りながら考える！」と言っていたことは、行動志向型人間の最先端だと感じております。

頭の中で思いを巡らせるよりは、まず行動を開始することが、すぐやる習慣の出発点ではないでしょうか！

気持ちのよい挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月15日（火）  
**担当者** 消防署長 山口 洋幸

おはようございます。消防署長の山口です。

今回はご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、「一隅を照らす、此れ即ち国宝なり。」という言葉についてお話をさせていただきます。これは比叡山延暦寺の開祖である最澄という僧侶が、人材教育の重要性を説いたとされる一説で、「自分自身が置かれた場所や立場で精一杯努力し、明るく光り輝ける人こそ何物にも変えがたい国の宝である。」と言う意味だそうです。

私がこの言葉を知ったのは、たまたま見かけたネットの記事でした。

それは広島東洋カーブの初代オーナーでもあったマツダ株式会社3代目社長、松田恒次さんの座右の銘であり、現在でも社長室にはこの言葉が書かれた色紙が置いてあるそうです。

松田さんは1960年代、トヨタと日産の二大メーカーが中心となっている業界にあって、独自技術の開発に成功しなければ、自動車メーカーとして認めてもらえないと言うことで、当時、世界でも量産は難しいと言われたロータリーエンジンの開発に社運を賭けて挑みました。しかし、その道のりは非常に厳しいもので、開発の責任者からは「もうできません。」と報告を受けたにもかかわらず、約4年でその開発を成功させました。そして、コスモスポーツという車に搭載されたそのエンジンは、車ファンを熱狂させ、のちにはレース用に改造したそのエンジンで、世界三大レースの一つと言われるル・マン24時間耐久レースに挑み、幾度のリタイアにもめげず最後の挑戦にして日本車で初めての総合優勝を飾っています。

先般、本市は日本ハムのボールパーク候補地に内定しました。これからは職員一人ひとりがまさに一隅を照らし、マツダのファイティングスピリットに習いながらこの一大プロジェクトを成功させるため、一丸となって前へ進みましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月16日（水）  
**担当者** 市民参加・住宅政策室長 米川 鉄也

おはようございます。市民参加・住宅政策室長の米川鉄也です。私が所属する部署は、今年度新設され、市民協働や男女共同参画などの市民参加政策と空き家対策をはじめ、定住促進や住宅リフォーム支援などの住宅政策全般の大きく2つの業務を担当しています。

組織体制は、私を含め4名体制ですが、主査を中心に雰囲気良く、真摯に業務に取り組んでくれ、頼もしい限りで毎日ワクワクしながら出勤しています。

さて、ワクワクと言えば、やはりボールパークの誘致決定ですが、これに関連したものを、特に若手から中堅と言われる、20代から40代の職員の皆さんにお伝えしたいと思います。

このボールパーク誘致決定後は、様々な場面で「職員一丸となって」とか「職員全員の英知を結集させて」というお話をよく聞きますが、今回の組織改編により、担当職員が概ね決まったことで、正直、自分は関係ないと思っている人も多いと思います。

ここで当たり前の話をすると、我々職員の業務は、ボールパークを整備することだけではなく、それぞれ担当する大切な業務があります。もう一步踏み込むと、市民の皆さんはボールパークとともに市民サービスが更に良くなることを望んでいます。

重要なところはここで、自分の担当する業務に日々しっかりと取り組むことが、市民の皆さんにボールパークを支持してもらうことにつながり、直接的ではなくても、ボールパークの実現に向けた「職員の一体感」が、強く外に伝わることとなります。

今、北広島に住む者として、本市の歴史に欠かすことのできない、クラーク博士、和田郁次郎翁、中山久蔵翁への感謝を込めたご恩返しと、「懐く・励む・挑む」の思いを胸に、自分の業務を通じて、ボールパークの実現と一緒に貢献して行きましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月17日（木）

**担当者** 税務課 福井 瑞紀

おはようございます。税務課の福井瑞紀です。

4月に北広島市役所に入庁し、1か月半が経ちました。毎日、新しいことが数多くあり、一つ一つの業務を進めていくことで今は精一杯ですが、周りの先輩の皆さんが優しく指導してくださり、日々感謝しながら業務を進めています。

今回は私が目指す職員像についてお話させていただきます。これは採用試験の論文や新任職員研修の作文でも同じようなことを書きましたが、私が目指す職員像は市民からも職員からも信頼される職員です。私が配属された税務課は、市民の方に直結する部署であり、窓口や電話で市民の方と接する機会が多くあります。市民の方から見ると新人もベテランも同じ職員であり、同じレベルの対応が求められます。入庁数か月の新人とはいえ、対応に時間がかかったり、間違えた対応をしたりすると職員としての信頼が損なわれてしまいます。そのため、業務に関する勉強を欠かさず、また、先輩方のお手本をどんどん参考にしていきたいと思います。

また、職員からの信頼を得るという点では、基本的なことですが報告・連絡・相談を意識したいと思っています。新人が仕事を進めること、新人に仕事を任せることはお互い不安な点があると思います。そこで、報告・連絡・相談を大事にすることで、この仕事は任せても大丈夫、この仕事も挑戦させてみようと思ってもらえるような職員になりたいと思います。

社会人1年目でまだまだ未熟者ですが、1日でも早く立派な北広島市職員になれるように日々努力していきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。



**放送日** 平成30年5月18日（金）

**担当者** 税務課 梅津 裕樹

おはようございます。総務部税務課の梅津裕樹です。

新採用職員として働き始めてから1か月半が過ぎました。

この1か月半はあっという間で目まぐるしく日々が過ぎていきました。毎日、違う課題にぶつかりながら業務を行っています。新しい環境の中で毎日が勉強であり、戸惑ってしまうことも多々ありますが先輩方の手を借りながら日々の業務に取り組んでいます。

今はまだ業務のスピード、正確さに欠くところもありますが、1日でも早く効率的かつ正確な業務ができるよう努力していきたくと思っています。

今日は私が4月から心がけていることについてお話しします。

それは「探究心」を持つことです。

税務課の納税担当職員として配属になった私は、ほとんど専門知識がないまま業務をスタートさせました。これまでは聞いたこともなかった用語や制度、法律など日がたつにつれて自分の知識の無さを感じると共に、知識を持つ大切さを身に染みて感じるようになりました。それにつれ、自分が知らなかった物事について知ることや、色々な物事に対して知識を深めたいと思うようになりました。新しい知識を得ることで、疑問に思うことも増えていき、柔軟な考え方もできるようになっていくと思います。

さらに、今は必要のない知識でもどこかで役立つことがあるかもしれません。

これから先も「探究心」を持ち続け、日々の経験の中で様々なことを勉強していきこれからの生活の基盤を造っていきたくと思っています。

今はまだ業務のことで疑問に思うことも多くあり、周りの先輩方には色々質問をさせてもらおうと思いますが、

その時は何卒よろしくお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月21日（月）

**担当者** 環境課 板井 創司

おはようございます。環境課の板井 創司です。

さて、新社会人として入庁し二か月が経とうとしていますが、まだまだ業務には慣れず、先輩に教を乞いながら日々勉強の毎日です。本日は日ごろ業務に対して感じることと今後の展望について少しお話しさせていただきます。

私は現在廃棄物の係を担当しており、市内の不法投棄の回収やゴミの分別に関する事など業務内容は多岐にわたっています。市民の方からの質問や要望は日々多く寄せられ、的確に回答・行動しなければ市民の方に迷惑をかけてしまうだけでなく、環境課の信頼度も失墜してしまいます。

このことより私は、学生時代とは違い、一つ一つの行動により一層の責任が伴うことを実感しております。「責任感を持つ」ということはもちろん当たり前のことではありますが、当たり前のことをしっかり意識することが市の職員として重要ではないかと私は感じています。

まだまだ社会人一年目ではありますが、今感じている基本を忘れずに過ごしていきたいと思います。

また、今後の展望・目標として、市民の方から信頼される職員を目指すことが第一優先だと考えております。

今の状態では、質問や要望が寄せられてもどう対応していいのかわからず、先輩方に質問してばかりのため結果的に先輩方に委ねている形になっています。そのため市民の方からすると、しっかり対応してもらえるのか不安になってしまうと思います。

今後は、先輩方に伺った質問の内容は一度でしっかりとスポンジのように吸収し、ネクストステージにいけるよう行動できる職員を目指します。また、日々キャパシティの拡大に励んでいきたいと思います。一番を目指します。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月22日（火）  
**担当者** 高齢者支援課 宮下 なみ

おはようございます。4月に採用になりました保健福祉部高齢者支援課の宮下なみです。配属になった高齢者支援課では、主に介護保険料の賦課の担当をしています。

今日は、新入職員としての抱負についてお話しさせていただきますが、その前に先日テレビで紹介されていた心理テストの話をしたと思います。日本語には様々な四字熟語があります。皆さんが最初に思いつく四字熟語はなんでしょうか。私が思いついた四字熟語は、「初志貫徹」です。この心理テストは、最初に思いついた四字熟語がその人の人生観を表しているというものです。私が思いついた「初志貫徹」は非常に私の考え方に当てはまるものであると同時に、市職員として新たなスタートを切ったばかりの私にとって改めて心に響く言葉でした。現在の私は市職員となって約1か月半が経ち、担当となった介護保険料に関し、先輩や上司の助けの下、なんとか市民の皆様に対応させていただいている毎日です。そのような状況の中ではありますが、日々の業務を通じて採用となる前以上に、市役所とは市内に居住する方とあらゆるところでつながりのある大切な機関であると改めて感じています。だからこそ、市民への貢献を最優先し、市民目線で考え、実際に行動に移すことのきる職員になりたいと強く思うようになりました。私の人生観を表す「初志貫徹」という四字熟語は、その言葉の通り、初めに心に決めた志を最後まで貫き通すことです。今、私の心にあるこの初志を大切にし、市民への貢献を最優先する職員となれるよう業務に邁進していきたいと思います。皆さんが思いついた四字熟語は、ご自身の人生観にぴったりあてはまるものでしたでしょうか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月23日（水）

**担当者** 健康推進課 山口 琴乃

おはようございます。健康推進課の山口琴乃です。

入庁して約1か月半が経ち、保健師として市民とかかわる中で、毎日多くの学びを得ています。

今日は、私の理想とする職員像についてお話します。

それは、市民に信頼され、心に寄り添った支援ができる保健師です。

私の所属する健康推進課は、一人ひとりが自らの健康を管理し、改善できるように支援する「ヘルスプロモーション」の考え方に基づいて市民の健康づくりを支援しています。したがって、私たち職員は、市民に対して一方的に働きかけるのではなく、個々の健康に対する意識を引き出すことが重要な役割となります。

そのためには、相手との信頼関係を構築したうえで、支援することが大切だと思います。先輩職員のみなさんは、常に、対象となる方の生活背景や、言葉の裏に隠された思いにも目を向け、個別性に合った支援を検討しています。私は、このような支援が、信頼関係の構築につながっているのだと感じます。

今の私は、目の前の業務で精いっぱいになってしまうことも多く、相手の立場に立って考えるという姿勢が足りていないと感じます。そのため、今後は、市民と積極的にコミュニケーションを図り、先輩たちから様々な視点を学ぶことで、少しでも多くの方から「この人に話を聞いてほしい。」と思ってもらえる保健師を目指して頑張りたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張らしましょう。

**放送日** 平成30年5月24日(木)

**担当者** 保険年金課 中嶋 泰士

おはようございます。保健福祉部保険年金課の中嶋です。4月から北広島市役所に入庁しました。まだまだ、社会人になって初めて体験することばかりで、職場の先輩方を近くで見ながら、市民の方への対応方法、仕事の進め方などを学び、自分のものにできるよう勉強の毎日です。

さて、今日は、私が約二か月間働いて感じたことと目指す職員像についてお話ししたいと思います。私は、保険年金課の中で、後期高齢者医療給付に関する分野を担当しており、この仕事をするまでは、まったく知識はなく、私にとってなじみの薄い分野でした。そのため、もちろん制度について知ることは必要だと考えていました。しかし、日々の業務を通して、ただ知識を詰め込むだけではなく、そこでインプットした情報をお客様に伝える力も必要だと思うようになっていきました。窓口、電話対応では、高齢の方が多ということもあり、問い合わせ内容について、ただ漠然と説明するのではなく、理解してもらうために声の大きさやパンフレットを使って説明するなど工夫して伝えることが重要だと感じています。

こうして、日々の業務の中で直に市民の方と接することが多いからこそ、責任感を持って、誤解を与えないような言葉の選び方が必要になってくると思います。また、業務の中において、まだまだ周りの方に助けをもらい、頼ってしまうことばかりではありますが、安心して仕事を任せてもらえるよう、職場の方、延いては、市民の方にも信頼されるような職員となっていきたいです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月25日（金）

**担当者** 子ども家庭課 遠藤 礼菜

おはようございます。子育て支援部子ども家庭課の遠藤礼菜です。4月に北広島市職員となってから約二カ月、自分の至らなさに反省する毎日ですが、周りの方々に助けられながら、日々業務に励んでいます。今日は、私が日頃から心がけていることについてお話しさせていただきたいと思います。

私は大学時代に、複数の眼を持ってものごとを考える「複眼思考」という考え方について学びました。自分の常識や価値観だけで判断するのではなく、相手のものさしを持って思考し、理解する。言葉にするのは簡単ですが、実践するのはとても難しいことです。授業では異文化理解を深める重要な考え方として学びましたが、普段友人と接する際や、仕事に取り組む上でも大切な考え方だと感じています。たとえば、話合いで意見が食い違った時、自分が正しいと感じていると、相手の意見を頑なに否定してしまいがちです。その際、頭ごなしに否定するのではなく、なぜその考えに至ったのか、相手の目線で考えることで、その意見をより深く理解することができます。そうすることで、お互いが納得のいく結論を出しやすくなり、話合いもスムーズに進めやすくなります。同様に、市民の方と接する際も、「自分が同じ立場だったら」という視点を忘れずに取り組むことで、市民の笑顔に貢献する仕事ができるのではないかと考えています。

この複眼思考という考え方を実践するためには、相手を思いやる気持ちと、多角的な視野を持つために様々な経験を積むことが必要です。市民の方々や職場のみなさんとの信頼関係を大切にしながら、常に挑戦し学ぶ姿勢を持ち続けていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月28日（月）

**担当者** すみれ保育園 石田 千晴

おはようございます。子育て支援部すみれ保育園の石田千晴です。私は、今年度からすみれ保育園で保育士として働いています。働き始めて約二か月が経とうとしていますが、保育園では毎日元気いっぱいの子どもたちとふれ合っています。

私には、保育士として大切にしたいこと・目指す保育士像があります。一つ目は、子どもたちや保護者の方に信頼される保育士になることです。子どもたちは、一日の大半を保育園で過ごします。その中で、親と離れることで、不安な気持ちになる子どもいるかと思います。そんな子どもたちの気持ちに寄り添い、子どもたちが安心して楽しく保育園に通えるような環境を作ることが大切だと感じます。そのために、まずは笑顔で接し、子どもたち一人一人の気持ちや発達をしっかりと理解して、関わっていただける保育士を目指したいです。また、働く上で同じ保育園で働く先生方などにも信頼されるよう毎日過ごしていきたいです。

二つ目は、保育士としてだけでなく社会人として気持ちの良い挨拶をすることです。先ほど述べた、子どもたちや保護者の方との信頼関係を築くためにも、挨拶はまずその第一歩だと感じます。保育園の子どもたちも、いつもとても元気な声で挨拶をしています。散歩へ行った際は、地域の方へも積極的に挨拶をする姿に、地域の方にも笑顔が生まれます。私も、子どもたちに負けないくらい、そしてお手本になれるような明るい挨拶を心掛けて、日々励んでいきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月29日（火）  
**担当者** すずらん保育園 寺門 あやね

おはようございます。子育て支援部すずらん保育園の寺門 あやねです。

私は4月に採用され、もうすぐ2ヶ月が経とうとしています。保育園勤務が始まってからは、子ども達や保護者の名前と顔を一致させる事や前の職場の保育園とは仕事の流れが違う事に、まだ緊張しながら懸命に働く毎日です。園長先生を始め、諸先生方には優しくご指導を頂いており、早く頼れる職員となれるよう努力をしていきたいと思えます。

私は0歳児を担当する事となり、日差しが暖かな日にはベビーカーに子ども達を乗せ、お散歩に出ます。すずらん保育園を出ると、道路沿いにはとても綺麗に植えられたチューリップの花壇が並び、少し先には桜の木の下でゆったりと遊べる野原が広がっている所もあります。こんな身近に自然豊かな環境が整っている事は、子どもの事を考えるととても幸せな事です。環境が変わる事に敏感な0歳児に対し、車の走行音等で阻害されない自然の中で「大丈夫だよ」「気持ちいいね」と大人から優しく声を掛けられると安心もしやすいでしょうし、幼い頃から綺麗な物をみたり触れたりする事は五感も研ぎ澄まされると感じました。保育園の周りには、様々な公園もあるので子ども達と北広島の四季折々のものを探しながら少しずつ周りの事を知っていく事が楽しみです。

現在、保育士には「質の向上」が求められています。現場だけでは培うことの出来ない知識や技術を研修等でしっかりと学び、子ども達を健やかに伸び伸びと成長させていけるよう支援していきたいです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。



**放送日** 平成30年5月30日（水）

**担当者** 稲穂保育園 目黒 好

おはようございます。稲穂保育園の目黒 好です。

保育士になりたいという子どもの頃からの夢が叶い、4月から保育士としての第1歩を踏み出しました。優しく頼れる先輩方に支えられ、元気いっぱいの子どもたちとともに毎日楽しく過ごすことができ、北広島で働くことができ本当に良かったと日々感じております。

子どもたちを取り巻く問題としてよく耳にする言葉が、子どもの貧困化です。現代の子どもはおよそ7人に1人の割合で貧困だといわれています。そんなに困っている子どもがいるのかと疑問に感じる方もいるのではないのでしょうか。私も半年前までそう感じていました。考えが変わったきっかけは、子ども食堂にボランティアとして参加してからです。子ども食堂とは、子どもの貧困対策として始まった活動で、ボランティアが主体となり無料や安価で食事を提供する取り組みです。そこで出会った子どもたちの見た目はいたって普通で、困っている様子は感じませんでした。しかし、子どもから家庭での困りごとを話してくれることが何度かあり、困っている子どもがいるという現実を目の当たりにしました。そのような子どもたちも、子ども食堂での温かい食事や優しい大人との触れ合いを通して笑顔になっており、子どもにとって安心できる場所になっているのだなと感じました。

皆さんの周りにも困っている子どもがいるかもしれません。ぜひ、周りの子どもたちに目を向けてみてください。私は保育士として様々な家庭背景を抱えている子どもがいるかもしれないという現状を理解して、全ての子どもが安心して保育所で生活できるように沢山の愛情を注ぎながら保育を行っていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員の皆さんが心に抱く大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 平成30年5月31日（木）  
**担当者** 都市整備課 尾暮 大輔

おはようございます。都市整備課の尾暮です。

私は10年ほどの社会人経験を経て、この4月に入庁いたしました。

4月2日の辞令交付式は、北広島市がボールパークの候補地として内定をいただいた直後であり、マスコミに大きく取り上げられる、とてもインパクトに残るものとなりました。このタイミングでの入庁を大変嬉しく思うのと同時に、身が引き締まる思いでもあります。

私はこれまで、社会人として様々な経験をしてきましたが、仕事をするうえで最も大切にしなければならないことは「健康管理」だと考えています。人は誰しも”体が資本”です。仕事でベストパフォーマンスを発揮するため、メリハリをつけながら自分で自分の体を気遣うことが、社会人としての重要な要素ではないでしょうか。リフレッシュする方法は人それぞれかと思いますが、最近の私の休日は、公園に行こうと手を引っ張る3歳の息子と一緒に、近くのトリムコースを散歩したり自転車を走らせたりすることで、リフレッシュしています。子育てはとても体力を消耗しますが、それと同時に子供からエネルギーをもらっている気もしています。

最後になりますが、私は今、道路整備に係わる業務を担当しています。市民の皆様が、安心して快適に生活できるような安全な道路づくりを進めることが、この業務の使命だと考えています。今は新たに学ぶことの連続で、まわりの先輩職員の皆さんに助けをもらうことが多々ありますが、質問を沢山させていただき、日々の積み重ねを大切にして業務に励んでいきますので、よろしく願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。